

人間関係論

ナンバリング:N1-L2-Z31

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 香川 由美 助教		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野、教養教育センター		
対象学年	1	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

人間関係の基本は「自分自身を知る」ことである。一般的に人は他者に照合することによって自分自身を認識し、他者の存在によって自分の社会的役割を認識していく。保健医療の現場において専門職が職務をスムーズに遂行するためには対象者との良好な人間関係を構築することが不可欠である。また、対象者とどのような人間関係を構築できるかが援助の質を左右することにつながる。本科目では人間関係のあり方やその特徴を理解し、良好な人間関係を構築する方法について学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

人間関係に関する基礎知識を理解し、基礎的なコミュニケーションスキルを身に付けることにより、自己理解を深め、周囲の人と良好な人間関係を築く力を修得する。また、医療人として職務を遂行する際に良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 自己概念について説明できる。 2. 対人認知に関わる要因について説明できる。 3. 集団と個人の関係について説明できる。 4. 集団意思決定について説明できる。 5. リーダーシップについて説明できる。 6. 自分と他者の特性を考慮に入れたコミュニケーション方法を実践できる。 7. アサーティブ・コミュニケーションについて理解し実践できる。 8. チーム医療における人間関係について説明できる。 9. さまざまな書籍に触れることにより、人と人との繋がりについて多角的に考えることができるようになる。

・授業日程

【講義】

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/4 木 2限	【授業内容】①授業ガイダンス、②人間関係論とは、③自己の理解① 1. 人間関係論の学問的背景と講義の全体像を理解することで、人間関係論を学修する自分にとっての意義を述べることができる。 2. 自己概念について学び、自己評価に影響を与える要因について説明できるようになる。 3. リフレーミングについて学び、リフレーミングのスキルを実践できる。 【関連するSBO】 1 【事前学修:40分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまとめておく。 【事後学修:50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
9/11 木 2限	【授業内容】自己の理解② 【双方向授業】【グループワーク】【ICT(WebClass)】 1. MBTI(Myers-Briggs Type Indicator®)の基礎知識を学ぶことにより、自己に対する理解を深めることができる。※ただしMBTIの個人診断は行わない。 2. 自分とタイプの異なる人の思考や判断の特徴を知ることにより、自己と他者のタイプを考慮に入れたコミュニケーションを実践できる。 【関連するSBO】 1, 6 【事前学修:40分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまとめておく。 【事後学修:50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教

9/18 木 2限	【授業内容】対人関係① 【双方向授業】【グループワーク】【ICT(WebClass)】 1. 対人魅力について学び、人が他者に魅力を感じる要因を列挙できるようになる。 2. 対人関係において葛藤が生じる理由と対処法を説明できるようになる。 3. 愛着スタイルを自己分析することにより、自分の傾向を把握できるようになる。 4. 親密な関係の維持と崩壊に関わる要因を列挙できるようになる。 【関連するSBO】 2 【事前学修:40分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べままとめておく。 【事後学修:50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
9/25 木 2限	【授業内容】対人関係② 【双方向授業】【グループワーク】【ICT(WebClass)】 1. 3種類のコミュニケーションスタイルを学び、それぞれの特徴を説明できるようになる。 2. コミュニケーションスタイルを自己分析し、自分の成長課題を挙げられるようになる。 3. アサーションについて学び、アサーティブ・コミュニケーション法を実践できるようになる。 【関連するSBO】 7 【事前学修:40分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べままとめておく。 【事後学修:50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
10/2 木 2限	【授業内容】集団の人間関係① 【双方向授業】【グループワーク】【ICT(WebClass)】 1. 集団形成について学び、集団の人間関係に関わる要因について説明できるようになる。 2. 集団意思決定の種類を学び、それぞれの特徴について説明できる。 3. プレインストーミング法、コンセンサス法を練習し、集団の意思決定を実践できる。 【関連するSBO】 3, 4, 5 【事前学修:40分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べままとめておく。 【事後学修:50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
10/23 木 2限	【授業内容】集団の人間関係② 【双方向授業】【グループワーク】【ICT(WebClass)】 1. リーダーシップの種類を学び、それぞれの特徴を説明できるようになる。 2. リーダーシップのタイプを自己分析し、自分の強みと成長課題を把握できるようになる。 3. 事例をもとに、チーム医療に求められるリーダーシップを述べるができるようになる。 【関連するSBO】 3, 4, 5 【事前学修:40分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べままとめておく。 【事後学修:50分】講義内容を復習し、確認問題に取り組む。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
10/30 木 2限	【授業内容】ビブリオバトル(クラスマッチ) 【プレゼンテーション】 1. 自分が選んだ本についてその魅力を分かりやすく伝えることができる。 2. ビブリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。 3. グループメンバーとの質疑応答やジャッジを通して、これまでの授業で学んだ建設的なコミュニケーションを実践できる。 【関連するSBO】 9 【事前学修:90分】My Biblioを選び、期日までにコンテンツシートとシナリオシートを作成し、提出する。スタナビの「ビブリオバトル」の箇所を読む。 【事後学修:50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
11/6 木 2限	【授業内容】医療における人間関係①【双方向授業】【グループワーク】【ICT(WebClass)】 1. 小児科医療におけるFamily-centered careの実践について実務者の講義を聴き、患者・家族と医療者のコミュニケーションはなぜ重要なのか述べるができるようになる。 2. 講義とグループディスカッションをふまえ、チーム医療における医療従事者間、患者と医療者の人間関係で大事にすることについて、自分の意見を述べるができるようになる。 【関連するSBO】 8 【事前学修:40分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べままとめておく。 【事後学修:50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。	教養教育センター 澤田 なおみ非常勤講師 心理学・行動科学分野 香川 由美 助教

11/13 木 2限	【授業内容】ビブリオバトル(ファイナルマッチ) 【プレゼンテーション】 1. 他クラスから選出されたファイナリストとビブリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2. ファイナリストの発表を聴くことで、説得力のあるプレゼンテーションのポイントについて自分の意見を述べるができる。 3. 質疑応答やジャッジを通して、これまでの授業で学んだ建設的なコミュニケーションを実践できる。 【関連するSBO】 9 【事前学修:40分】「スタナビ」のビブリオバトルのページを読んで理解する。 【事後学修:50分】今後の自身のプレゼンテーションに活かせることをまとめる。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
11/20 木 2限	【授業内容】まとめ 1.これまでの講義で得た知識と経験をもとに、良好な人間関係を構築する目的と方法について、自分の考えを説明できる。 【関連するSBO】 6, 7, 8 【事前学修:90分】これまでの講義で学んだコミュニケーション技法の中から一つ選んで日常生活のなかで実践し、気づきをまとめ、持参する。 【事後学修:550分】これまでの講義内容を総復習して、提示された課題についてレポートを提出する。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論	山薦圭輔、本田周二	南山堂	2021
参	補訂版 社会心理学	池田謙一他	有斐閣	2019
参	カラー版徹底図解 社会心理学	山岸俊男監修	新星出版社	2011

・成績評価方法

【総括的評価】 各回の提出物(50%)、レポート(30%)、確認テスト成績(MCQ、20%)で評価する。レポート課題と提出物の評価基準は講義時に提示し、基準に基づいて評価する。 【形成的評価】 講義毎に理解度チェックをWebClassで実施し、理解度、到達度を確認する。結果はWebClassからフィードバックする。理解度チェックの結果は成績には反映しない。
--

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・各回、講義に関する課題に取り組み提出する。フィードバックは次回講義の初めに行う。 ・最終回にWebClassで確認テストを実施する。解答と解説をWebClassでフィードバックする。 ・科目全体のまとめとしてレポートを作成してWebClassに提出することを求める。結果はWebClassにてフィードバックする。 【事前学修と事後学修】 ・事前学修:シラバスに記載されている次回の講義内容を確認し、授業で取り上げる内容に関わるキーワードについて参考書等を用いて調べまとめる。 ・事後学修:理解度チェックに取組み、理解が不十分であった事項については配布資料、参考書等を用いて理解を深める。 ・各コマに対して、事前・事後学修に90分以上を要する。更に、レポート作成に7時間程度、確認テスト準備に3時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。 【その他】 ・一部「医療と法律」「医療と物語」「パーソナリティ心理学」と横断的にビブリオバトルをおこなう。 ・本科目では毎回グループワークを行う。実施方法については感染予防を鑑みて、状況に応じて適宜変更する。 ・成績開示方法:成績確定後、希望者には結果開示と講評をおこなう。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):基礎分野 科学的思考の基盤 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 医療現場での臨床経験をもつ小児科専門医が、Family-centered care(小児科医療における患者・患者家族を支えるチーム医療)について、実践例および学術研究に基づきながら講義をおこなう(第8回講義)。
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC(Panasonic CF-SV Let's note)	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVDプレーヤセット	1	講義資料の提示
講義	デスクトップ型PC (PC-GN235AAAF)	1	講義資料の作成